

福祉生活病院常任委員会資料

(令和4年8月19日)

【 件 名 】

- 新型コロナウイルス感染症陽性者の個人情報漏えいについて
(福祉保健課)・・・2

- 「第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」予選審査会の結果について
(障がい福祉課)・・・3

- あるくと健康！うごと元気！キャンペーン～とっとり健康ポイント事業～（第2弾）の実施について
(健康政策課)・・・7

- 新型コロナウイルス感染症陽性者に係る個人情報漏えいについて
(中部総合事務所倉吉保健所)・・・8

福 祉 保 健 部

新型コロナウイルス感染症陽性者の個人情報漏えいについて

令和4年8月19日

福祉保健課

新型コロナウイルス感染症陽性者のうち在宅療養をされる方が健康観察に使用するパルスオキシメーターを配送する際、配送を請け負っている業者が、陽性者の自宅を十分に確認しないままに、誤って隣家に配送したことが原因で、陽性者の個人情報が漏えいしたことが判明しました。

今後、同様の事案が起きないように再発防止策を講じて、個人情報の適切な管理に努めます。

1 事案の概要

令和4年8月13日（土）に県のパルスオキシメーター等の配送業務の再委託を受けた郵便局の職員が、倉吉保健所管内の陽性者宅の隣家に、パルスオキシメーターの入った配送物を間違えて配送し、配送物を隣人が誤って開封し、陽性者の個人情報が漏えいした。

2 漏えいした情報

倉吉保健所管内の新型コロナウイルス感染症陽性者の氏名 1名分

3 発覚の経緯

8月14日（日）に、保健所職員が陽性者宅に架電し、在宅療養開始の案内をしたところ、パルスオキシメーターが隣家に届き、隣家の住人から受け取ったと言われ、個人情報の漏えいに気づき発覚した。

4 原因

配送にあたっては、感染者本人との接触は避けつつ、インターホンや電話などで届け先を確認できた場合に、配送をする手順としていたが、郵便局の職員が、陽性者の自宅を十分に確認しないまま配送したものの。

5 対応状況

- ・8月14日（日）に架電した保健所職員が、事案を認知した際に陽性者に謝罪し、改めて、8月15日（月）に保健所職員が、陽性者及び誤って届いた隣家の住人に対して経緯を説明して謝罪し、今後の再発防止に努めることをお伝えして、了解を得た。
- ・その他のパルスオキシメーターの配送等に関して、同様の情報漏えいがないことを確認した。

6 再発防止策

県が配送業務を委託している業者及び再委託業者に対して、個人情報の取扱いは慎重に行われるべきことを改めて認識し、適切な確認が行われるよう、次のとおり指導した。

- ・あらかじめ定められた配送の際の手順を遵守するよう全職員へ周知徹底すること。
- ・配送手順の定着に向けた定期的な研修を実施する等、再発防止に努めること。

「第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」予選審査会の結果について

令和4年8月19日

障がい福祉課

第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の本大会の予選審査会について、7月28日（木）にリモートで開催し、9月25日（日）に開催する本大会に出場する15チームを決定しました。

1 本大会出場チーム

別紙1のとおり15チーム（16校※）を選出

※合同チームが1つ（坂戸ろう学園・大宮ろう学園（埼玉県））

2 本大会出場チームの選出状況

（1）本県から参加した6チーム（6校）のうち、3チーム（3校）が本大会に出場決定

・鳥取聾学校（2年連続6回目）〔地方ブロック枠で選出〕

・米子東高等学校（2年ぶり4回目）、鳥取城北高等学校（3年連続7回目）〔得点順枠で選出〕

※その他、本県から参加した、境港総合技術高等学校、米子松陰高等学校、岩美高等学校は残念ながら予選通過ならず。

（2）本大会（本選）に3校が初出場

・大宮ろう学園（埼玉県）※坂戸ろう学園（今年度3回目の参加。本選出場は2年連続3回目。）との合同チームで参加。

・静岡城北高等学校（静岡県）

・群馬県立聾学校（群馬県）※A、B2チームが参加し、Bチームが本選出場

（3）過去大会優勝経験のある3チームも本大会出場

第8回／第7回／第4回／第2回：奈良県立ろう学校（奈良県）、

第3回：熊本聾学校（熊本県）、第1回：田鶴浜高等学校（石川県）

3 本大会演技順・選手宣誓チーム

（1）本大会演技順

別紙1のとおり

（2）選手宣誓チーム（抽選により選出）

熊本聾学校（熊本県）

4 予選審査会の概要

（1）日時：令和4年7月28日（木）午後1時から午後2時まで

（2）審査会実施方法：リモートにより実施

（3）審査員

審査員長：庄崎 隆志 氏（演出家・俳優 ろう者）

審査員：大竹 浩司 氏（全日本ろうあ連盟 副理事長 ろう者）

門 秀彦 氏（絵かき 聞こえる人）

田中 大介 氏（鳥取大学地域学部 准教授 聞こえる人）

（4）本大会出場チームの選出

参加申込みのあった60チーム（別紙2）から提出された予選審査動画の審査により、本大会出場チームを選出。

①地方ブロック枠（6チーム） →6チーム選出

6つの各地方ブロック（北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄）で審査得点が最も高いチームを選出。

②得点順枠（6チーム以上） →8チーム選出（2チームは合同チーム枠及び開催地枠から振り替え）

①の選出チームを除き、審査得点が高い順に8チームを選出。

③合同チーム枠（1チーム） →選出なしのため、得点順枠に振り替え

①及び②の選出チーム以外に、聴覚障がいを対象とする特別支援学校高等部とその他の学校で構成する合同チームの中で審査得点が最も高いチームを選出。

④初出場枠（1チーム） →1チーム選出

①から③までの選出チーム以外に、これまで本大会に出場したことがないチームの中で審査得点が最も高いチームを選出。

⑤開催地枠（1チーム） →選出なしのため、得点順枠に振り替え

①から④までの選出チームの中に開催地（鳥取県）のチームが含まれていない場合に限り、開催地（鳥取県）のチームの中で審査得点が最も高いチームを選出。

5 予選審査結果発表について

(1) 日 時：令和4年7月29日（金）正午から午後0時45分まで

(2) 発表方法：「手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル」YouTube 上で発表

(3) 内 容：本大会出場 15 チームの発表、本大会の演技順の発表、選手宣誓チームの発表及び審査員長の講評

6 第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の概要

(1) 開催日時：令和4年9月25日（日）午前9時30分から午後4時まで（予定）

(2) 開催方法：現地開催（予定）

(3) 出 場：予選を通過した15チーム

(4) 内 容：手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇等のパフォーマンス

第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 本大会出場チーム一覧 (予選審査結果)

【①地方ブロック枠（6チーム）】※各ブロックで最上位チームを選出

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 北海道・東北	青森県	青森聾学校	あおもりろう	157	2回目
2 関東	埼玉県	坂戸ろう学園・大宮ろう学園	さかどろろ・おおみやろう	177	坂戸：3回目 大宮：初出場
3 中部	静岡県	静岡城北高等学校	しずおかじょうほく	155	初出場
4 近畿	奈良県	奈良県立ろう学校	ならけんりつろう	177	9回目
5 中国・四国	鳥取県	鳥取聾学校	とっとりろう	169	6回目
6 九州・沖縄	熊本県	熊本聾学校	くまもとろう	166	8回目

※合同チームとして1回目。坂戸ろう学園は3回目の出場

【②得点順枠（8チーム）】※①を除く上位8チームを選出（③⑤で選出がないことによる振り替え2チーム分含む。）

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 中国・四国	愛媛県	松山聾学校	まつやまろう	164	4回目
2 関東	神奈川県	横浜南陵高等学校	よこはまなんりょう	160	5回目
3 九州・沖縄	福岡県	三井高等学校	みい	158	6回目
4 中国・四国	鳥取県	米子東高等学校	よなごひがし	157	4回目
5 近畿	兵庫県	鳴尾高等学校	なるお	153	2回目
6 中部	石川県	田鶴浜高等学校	たつるはま	152	9回目
7 中部	石川県	金沢北陵高等学校	かなざわほくりょう	150	2回目
8 中国・四国	鳥取県	鳥取城北高等学校	とっとりじょうほく	150	7回目

【③合同チーム枠（選出なし）】

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 -	-	選出なし	-	-	-

【④初出場枠（1チーム）】※①・②・③を除きこれまで本大会に出場したことがない最上位チームを選出

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 関東	群馬県	群馬県立聾学校Bチーム	ぐんまけんりつろう B	152	初出場

【⑤開催地枠（選出なし）】※①②に鳥取県チームが含まれるため選出なし

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 -	-	選出なし	-	-	-

[本大会の演技順]

順番	都道府県名	学校名	備考
1	群馬県	群馬県立聾学校Bチーム	
2	鳥取県	鳥取城北高等学校	
3	鳥取県	米子東高等学校	
4	石川県	田鶴浜高等学校	
5	石川県	金沢北陵高等学校	
6	兵庫県	鳴尾高等学校	
7	青森県	青森聾学校	
8	静岡県	静岡城北高等学校	
9	愛媛県	松山聾学校	
10	埼玉県	坂戸ろう学園・大宮ろう学園	
11	神奈川県	横浜南陵高等学校	
12	奈良県	奈良県立ろう学校	
13	福岡県	三井高等学校	
14	熊本県	熊本聾学校	選手宣誓チーム
15	鳥取県	鳥取聾学校	

■参加申込 60チーム (60校)

都道府県 コード	ブロック名	チーム数	学校数	No.	都道府県	学校(チーム)名	よみ	※ 参加実績	備考			
2 7	北海道・東北	2チーム	2校	1	青森県	青森聾学校	あおもりろう	2				
				2	福島県	聖光学院高等学校	せいこうがくいん	初				
8	関東	18チーム	18校	3	茨城県	竹園高等学校	たけその	初				
4				群馬県	赤城特別支援学校	あかぎとくべつしえん	初					
10				群馬県	群馬県立聾学校Aチーム	ぐんまけんりつろうA	初					
10				群馬県	群馬県立聾学校Bチーム	ぐんまけんりつろうB						
11				埼玉県	坂戸ろう学園	さかどろう	3	合同チーム				
11				埼玉県	大宮ろう学園	おおみやろう	初					
12				千葉県	松戸向陽高等学校	まつどうよう	初					
13				東京都	大泉桜高等学校	おおいずみさくら	9					
13				東京都	足立東高等学校	あだちひがし	3					
13				東京都	潤徳女子高等学校	じゆんとくじよし	7					
13				東京都	豊南高等学校	ほうなん	8					
13				東京都	東京家政大学附属女子中学校・高等学校	とうきょうかせいだいがくふぞくじよし	初					
13				東京都	クラーク記念国際高等学校東京キャンパス	くらーきねんこくさいとうきょう	7					
13				東京都	中央ろう学校	ちゅうおうろう	4					
13				東京都	青峰学園	せいほうがくえん	2					
14				神奈川県	日本女子大学附属高等学校	にほんじよしだいがくふぞく	2					
14				神奈川県	横浜南陵高等学校	よこはまなんりょう	8					
14				神奈川県	横浜富士見丘学園高等学校	ふじみがおかがくえん	初					
14				神奈川県	中央農業高等学校	ちゅうおうのうぎょう	初					
17				中部	10チーム	10校	21	石川県	田鶴浜高等学校	たつるはま	9	
17	石川県	金沢北陵高等学校	かなざわほくりょう				2					
18	福井県	啓新高等学校	けいしん				8					
19	山梨県	身延山高等学校	みのふざん				9					
22	静岡県	静岡城北高等学校	しずおかじょうほく				初					
23	愛知県	桜花学園高等学校	おうかがくえん				8					
23	愛知県	菊華高等学校	きくか				2					
23	愛知県	杏和高等学校	きょうわ				8					
23	愛知県	安城生活福祉高等専修学校	あんじょうせいいかつふくし				7					
23	愛知県	古知野高等学校	こちの				3					
26	近畿	6チーム	6校				31	京都府	京都八幡高等学校南キャンパス	きょうとやわた	7	
26							京都府	日星高等学校	にっせい	3		
28							兵庫県	鳴尾高等学校	なるお	7		
29							奈良県	奈良県立ろう学校	ならけんりつろう	9		
29				奈良県	聖心学園中等教育学校	せいしんがくえん	7					
30				和歌山県	橋本高等学校	はしもと	3					
31	中国・四国	16チーム	16校	37	鳥取県	鳥取城北高等学校	とっとりじょうほく	9				
31				鳥取県	米子東高等学校	よなごひがし	5					
31				鳥取県	鳥取聾学校	とっとりろう	7					
31				鳥取県	境港総合技術高等学校	さかいみなとそうごうぎじゆつ	9					
31				鳥取県	岩美高等学校	いわみ	8					
31				鳥取県	米子松蔭高等学校	よなごしょういん	初					
32				島根県	松江ろう学校	まつえろう	初					
33				岡山県	明誠学院高等学校	めいせいがくいん	4					
33				岡山県	岡山県美作高等学校	おかやまけんみまさか	5					
33				岡山県	岡山聾学校	おかやまろう	初					
34				広島県	ノートルダム清心高等学校	のーとるだむせいしん	5					
36				徳島県	阿波高等学校	あわ	初					
36				徳島県	池田高等学校辻校	いけだこうとうがっこうつじこう	初					
37				香川県	高松南高等学校	たかまつみなみ	6					
37				香川県	尽誠学園高等学校	じんせいがくえん	4					
38				愛媛県	松山聾学校	まつやまろう	4					
40	九州・沖縄	8チーム	8校	53	福岡県	三井高等学校	みい	9				
43				熊本県	熊本聾学校	くまもとろう	8					
44				大分県	楊志館高等学校	ようしかん	初					
44				大分県	大分東明高等学校	おおいたとうめい	9					
45				宮崎県	延岡しろやま支援学校	のべおかしろやま	初					
46				鹿児島県	出水中央高等学校	いずみちゅうおう	2					
47				沖縄県	向陽高等学校	こうよう	2					
47				沖縄県	真和志高等学校	まわし	9					

※参加実績欄 数字は参加回数(今大会含む)、「初」:初参加校

【申込み数】

チーム数	60
学校数	60
都道府県数	30

【参加実績内訳】

初参加校	17
初参加チーム	18
過去参加校	43

あるくと健康！うごく元気！キャンペーン～とっとり健康ポイント事業～（第2弾）の実施について

令和4年8月19日
健康政策課

県が策定している鳥取県健康づくり文化創造プランの理念である「健康づくり文化」の定着と「健康寿命」の延伸を目的として、県全体で健康意識の醸成や健康づくりに向けての行動変容を図るため実施している「あるくと健康！うごく元気！キャンペーン～とっとり健康ポイント事業～」について、昨年度に引き続き、第1弾・第2弾に分け、6ヶ月間開催しています。

9月から開始する第2弾では、これまでのポイント項目に加え、食生活、禁煙、飲酒状況など生活習慣全般に自己管理を促すようポイントを付与し、県民の更なる健康づくりの推進を目指します。

【事業概要】

- (1) 対象者 県内在住または勤務・就学している方
- (2) 事業実施主体 県（ウォーキング立県19のまちを歩こう事業実行委員会（NPO法人未来）に委託）
- (3) 実施期間及び内容

区分	第1弾	第2弾（今回）
キャンペーン期間	6月1日～8月31日（実施中）	9月1日～11月30日
キャンペーン内容	ウォーキングアプリを活用した歩数限定のキャンペーン	歩数以外の健康づくり活動も含めたキャンペーン
ポイント付与項目	・日々のウォーキング	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のウォーキング ・健診受診 ・野菜の摂取 ・スポーツ（ジムやスポーツ練習） ・日常の運動 ・地域・ボランティア活動 ・スポーツ大会・ウォーキング大会参加 ・健康づくりイベントへの参加 ・第1弾に参加した方にはボーナスポイントを付与するほか、以下のポイント項目を追加 ① 1週間のうち2日間以上、適正飲酒量を守った ② 参加前よりも煙草の本数を減らした ③ 1日のうち2回以上、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を摂った
ポイントの報告	・ウォーキングアプリにより自動集計	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリによる参加者は、日々の歩数が自動集計され、歩数以外の項目は参加者が専用Webページにて入力することで集計 ・アプリ以外の参加者は、報告用紙をメール、ファクシミリ又は郵送で事務局へ報告
特典	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、平均6,000歩/日以上歩いた方の中から抽選で6名に景品を謹呈 ・参加賞（景品当選者を除く200名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象期間内の記録を報告した者のうち、300ポイント以上を獲得した者の中から、抽選で500名に景品を贈呈（マッサージチェア、空気清浄機、電気圧力鍋など地元企業からの協賛品など） ・景品当選者以外には参加賞をプレゼント
その他	・アプリ内でミッションクリアすると応募可能な鳥取県の特産品が期間限定で登場	・参加者にアンケート調査を実施し、実施前後の行動変容を把握

<昨年度までの実施状況>

区分	参加人数	性別			年齢									
		男	女	未回答	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	未回答
令和3年度	2,755	1,128	1,617	10	30	295	438	682	649	405	188	61	3	4
令和2年度	1,958	803	1,134	21	26	184	285	460	407	291	176	68	1	60
令和元年度	1,295	474	778	43	27	74	138	216	238	229	204	103	8	58

※実施期間：令和元年度及び令和2年度は3ヶ月間、令和3年度は6ヶ月間の実施。

新型コロナウイルス感染症陽性者に係る個人情報漏えいについて

令和4年8月19日
中部総合事務所倉吉保健所

倉吉保健所では、新型コロナウイルス感染症の陽性者に係る同居家族の方に PCR 検査を勧めています。この度、別の陽性者のご家族のお名前を伝えるという個人情報の漏えいが判明しましたので、ご報告します。

今後、同様の事案が起きないように再発防止策を講じて、個人情報の適切な管理に努めます。

1 事案の概要

- (1) 事案発生所属
中部総合事務所 倉吉保健所健康支援総務課
- (2) 漏えいした情報
倉吉保健所管内の新型コロナウイルス感染症陽性者と同居する家族2名の名前
- (3) 漏えいした日
令和4年7月30日（土）
- (4) 発覚の経緯
陽性者（A）のご家族にPCR検査の意向を確認する電話をした際、同居していない知らない人の名前を告げられたとのご指摘があり、別の陽性者（B）のご家族と判明したものと。
- (5) 原因
陽性者聞き取り表を作成した際、別の陽性者の聞き取り表を加工する方式をとった。その際、不要な情報を削除し忘れたため、別の陽性者に係るご家族の情報が混在したものと。
- (6) 対応状況
7月30日に陽性者（A）（B）のご本人及び同居のご家族に経緯を説明して謝罪し、今後の再発防止に努めることをお伝えした。

2 再発防止策

- ・他の陽性者の聞き取り表を加工して使用しないよう、業務マニュアルに追記した。
- ・本業務に従事する職員に対して本事案を周知し、業務マニュアルを徹底するとともに、改めて個人情報の適正な取扱いを行うよう注意喚起を行った。